

名 称	設立年月日・会員数	会 長	事 務 局 長	事 務 所
郡 山 ユネスコ協会	昭和53. 1. 24 380名	佐 藤 信	栗 林 孝 市 (朝日生命業務課長)	郡山市清水台1-1-26 (朝日生命郡山支社)
白 河 ユネスコ協会	昭和53. 11. 19 150名	深 谷 浩 基	八 田 部 良 夫 (白河市社会教育課長)	白河市教育委員会社会教育課
福 島 ユネスコ協会	昭和55. 7. 19 153名	折 笠 与四郎	大 越 源 三郎 (福島市社会教育指導員)	福島市中央公民館
会 津 ユネスコ協会	昭和55. 11. 16 275名	高 橋 力	周 東 一 也	会津若松市教育委員会社会教育課

3 ユネスコ活動研修会

(1) 趣 旨

ユネスコ活動(国際理解・国際協力)関係者を対象に研修を行い、指導者層の育成を図ることにより、ユネスコ活動の振興に資する。

(2) 期日・会場・参加者

① 期 日

ア 昭和55年11月26～27日 会津若松市

イ 昭和55年12月9～10日 相馬市

② 会 場

ア 会津会場 会津若松市文化福祉センター

イ 相双会場 相馬市中央公民館

③ 参 加 者

ア 会津会場 89名

イ 相双会場 60名

(3) 講師・助言者

① 講 師

ア 会津若松市会場

外務省情報局文化第二課首席事務官

楠 木 祐 一

須賀川地方ユネスコ協会会長 内 山 邦 夫

イ 相双会場

須賀川地方ユネスコ協会会長 内 山 邦 夫

福島市社会教育指導員 遠 藤 宮 子

青年海外協力隊員 鈴 木 進 一

飯館村カンボジャ難民を救う会代表世話人

佐 藤 信 明

② 助 言 者

ユネスコ協会事務局長

海浜青年の家所長

県民生活課員

県教育庁社会教育課員

県教育庁相双教育事務所員

(4) 内 容

① 講 義

地域におけるユネスコ活動の進め方

② 事例発表

ア ユネスコ協会の活動について

イ 海外における婦人活動の現状について

ウ 青年海外協力隊に参加して

エ 走れ飯館号

③ 研究協議

地域におけるユネスコ活動の内容と方法

④ 講 演

世界の中の日本

第5節 家庭教育

1 概 要

今日の家庭生活の変化のなかで、親が家庭教育のありかたを理解し、日常生活のなかで実践することはますます必要となっている。

このため、家庭教育に関する学習の機会をもうけ、学習の内容・方法について工夫改善に努めている。また、家庭・学校・地域の連携いをふかめていっそう学習の充実をはかっている。

すなわち、第1に家庭教育学級では、1小学校区1学級の設置を目標とし、とくに市町村の自主学級設置に努めた。

また、家庭教育研究集会を開催し、学習内容・方法について研究協議し、家庭教育の実践化を目指している。

第2に、家庭教育相談事業を実施している。県内の3歳第1子をもつ親を対象として、ハカキ通信・巡回相談・テレビ放送をおこない効果をあげている。

第3には、家庭教育調査研究事業を実施し、今日の家庭教育上の課題を検討分析した。昭和54年度に引継ぎ、この結果を報告資料として学級関係者に配布し、活用をはかるものである。

2 家庭教育研究集会

(1) 趣 旨

家庭教育に関する学習の機会を拡充し、効果的な学習をすすめるために研究協議をおこない、地域における家庭教育の振興を図ることを目的とする。

(2) 主 催

福島県教育委員会 原町市教育委員会

(3) 期 日

昭和55年5月28日(水)

(4) 会 場

原町市文化センター

(5) 参 加 者

240名